

第 20 回 新得町地域公共交通活性化協議会議案

と き 平成30年1月19日（金）14：00～

ところ 新得町役場 3階 大会議室

会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

報告第1号 経過報告 1

報告第2号 平成29年6月～平成29年11月のコミュニティバス利用状況 2

4 議 題

議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について 4

5 そ の 他

6 閉 会

新得町地域公共交通活性化協議会 委員名簿

平成29年8月23日現在

	分野	所属団体名等	役職	氏名	備考
1	計画策定	新得町	副町長	金 田 將	会長
2	道路管理者	帯広開発建設部道路計画課	課長	瓜 生 和 幸	
3		十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所	所長	田 中 孝 幸	
4	公共交通事業者	北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小 森 明 仁	
5		新得ハイヤー有限公司	社長	石 畑 政 俊	
6		北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	小 野 寺 康 弘	
7		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高 橋 敏 朗	
8	利用者代表	新得町商工会	会長	湯 浅 悟 史	副会長
9		屈足商工振興協議会	会長	竹 浦 隆	
10		新得町観光協会	会長	岩 野 光 一	
11		新得町PTA連合会	会長	箕 浦 孝 一	監事
12		社会福祉法人 新得町社会福祉協議会	会長	赤 木 英 俊	
13		新得町女性団体連絡協議会	会長	中 井 由 利 子	監事
14		新得市街地区連合町内会	会長	青 柳 茂 行	
15		屈足連合町内会	理事	片 桐 浅 夫	副会長
16		すこやかクラブ	会長	北 敏 夫	
17		報徳クラブ	会長	菅 野 益 二 郎	
18		株式会社福原 新得店	店長	国 重 雅 浩	
19		株式会社福原 屈足店	店長代理	佐々木 真記子	
20		新得クリニック	事務課長	福 木 琢 也	
21		新得診療所	院長	佐 藤 夏 子	
22		サホロクリニック	事務長	若 林 尚	
23	運輸局	北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	笹 治 忍	
24	警察	新得警察署	交通課長	伊 達 辰 幸	
25	北海道	十勝総合振興局地域創生部地域政策課	課長	小 林 達 也	
	事務局長	新得町地域戦略室	室長	東 川 恭 一	
	事務局員	新得町地域戦略室地域戦略係	係長	清 野 能 伸	
			主事	草 野 悠	
			主事	飯 田 美 穂	

報告第1号

経過報告（第19回協議会以降）

平成29年

9月 9日	花火大会にてコミュニティバスPR
10月 1日	回数券の販売開始
	無料運行デー（毎月第4土曜）の実施開始

報告第2号

平成29年6月～平成29年11月のコミュニティバス利用状況

1. 1日あたりの乗車数＜別紙1＞

(1) 総計（新得市街地＋屈足地区）

前年度と比較すると平成28年度は台風の影響もあり利用者は少ない状況だったが、平成29年度は増加傾向である。目標としている乗車数を維持し続けている。

(2) 新得市街地

利用状況から推測すると、西地区から東地区へ、日常の食料や日用品の買い物、通院に利用する方が多く、午前中の2便、3便を利用する方が多い。

(3) 屈足地区

午前中の1便の乗車が多く、教育委員会で配布している無料乗車券を使った町営温水プールに通う児童の利用もあり、3便での降車が多い。

2. 利用の多いバス停

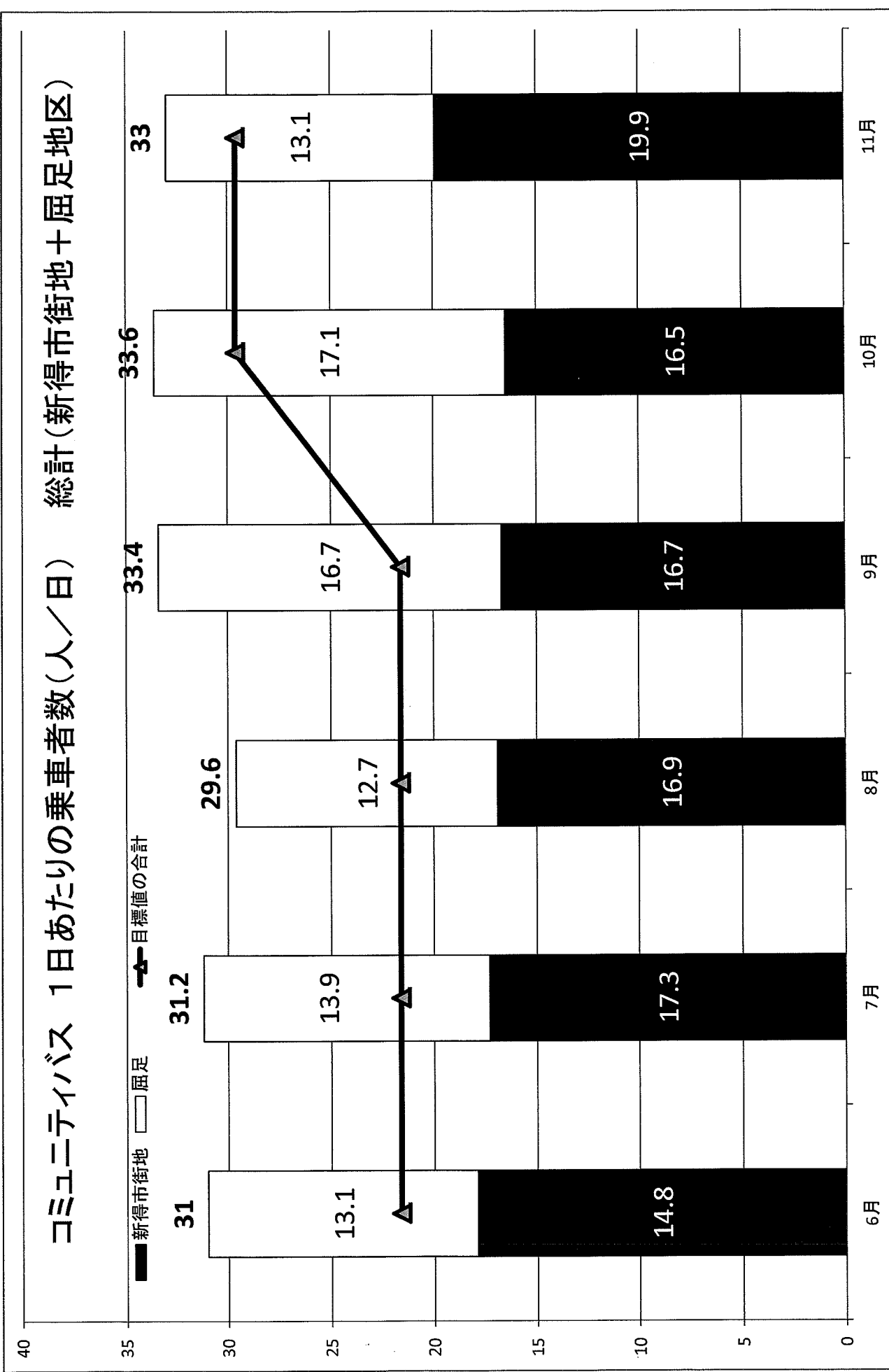
新得駅、フクハラ新得店、相馬商店、小松整骨院、一心の1、グループホームさくら、サホロクリニック、つつじヶ丘公園、若草会館前、西和北、新得クリニック、エーコープ前、なごみ前、温水プール、公民館前、新得郵便局、かえで西、柏町1丁目、幸町4丁目、屈足常盤、永福寺前、屈足南小学校裏門前、親友北、屈足22号、屈足総合会館前、第2新進、新友2など

3. 屈足早朝便（コミュニティバス車両活用）の利用状況

1便については、平成28年7月より運行を開始しており、屈足から帯広方面の高校へ通う学生のうち、始発列車を利用する学生の利用により、最大で2名が利用している。

2便については、屈足から帯広方面の高校へ通う学生の利用が多く、最大で10名が利用している。

コミュニティバス 1日あたりの乗車者数(人/日) 総計(新得市街地+屈足地区)



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:新得町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーター系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
北海道拓殖バス株式会社	新得市街地線 1日5便 (JR新得駅前～新得公民館前 ～JR新得駅前) 屈足地区線 1日3便 (JR新得駅前～屈足総合会館 前～JR新得駅前)	事業計画に位置付けた目標の 達成、利用促進のため、バスの 周知・PRを継続して実施した。	A 計画通り、事業は適切に実 施された。	乗車人数については、利用の 実態を踏まえた目標値とするこ とによって、目標乗車人数21. 6人/日(4月～11月)に対し3 0.2人、26.9人/日(12月～ 3月)に対し30.1人と目標を 達成することができた。 ○詳細 4月～11月(積雪のない期 間) 新得市街地→13.4人/日 に対して、17.4人/日 屈足地区→8.2人/日に対 して、12.8人/日 12月～3月(積雪のある期 間) 新得市街地→18.4人/日 に対して、19.1人/日 屈足地区→8.5人/日に対 して、10.9人/日	バスの周知・PRの継続や、町民の 意見を反映した路線の再検討など によって、より身近なフィーター交 通として維持していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	新得町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	新得町は、北海道の重心に位置しており、面積1063.83km²、人口は平成29年12月末現在で6,291人の町である。 本町の幹線の交通については、一定の公共サービスが充足しているものと考えられていたが、幹線へつなげるフィーダー交通がないため、住宅地と幹線交通の駅や停留所に距離があり、公共交通が利用しにくい状況となっていた。 コミュニティバス「そばくる」の運行により、有料にも関わらず、多くの方に利用いただいており、住民の移動手段としての公共交通の必要性が十分に確認されているところである。 住民に将来にわたって住み続けたいと思われれる町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、JRや既存路線バスの地域間幹線系統と接続したフィーダー交通(コミュニティバス)の確保維持が不可欠となっている。

新得町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

新得町は、北海道の重心に位置しており、面積1063.83km²、人口は平成29年12月末現在で6,291人の町である。

本町の幹線の交通については、一定の公共サービスが充足しているものと考えられていたが、幹線へつなげるフィーダー交通がないため、住宅地と幹線交通の駅や停留所に距離があり、公共交通が利用しにくい状況となっていた。

現在、コミュニティバス「そばくる」の運行により、有料に関わらず、多くの方に利用いただいております。住民の移動手段としての公共交通の必要性が十分に確認されているところである。

住民に将来にわたって住み続けたいと思われたい町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、JRや既存路線バスの地域間幹線系統と接続したフィーダー交通（コミュニティバスの）確保維持が不可欠となっている。

地域公共交通の現況

- ・JR石勝線（新得駅）
- ・JR根室本線（新得駅）
- ・北海道拓殖バス（株）（町内1路線）
- ・スクールバス（5路線）

生活交通確保維持改善計画の目標

(1) 目標

4月～11月（積雪のない期間） ・新得市街地→13.4人/日 ・屈足地区→8.2人/日
12月～3月（積雪のある期間） ・新得市街地→18.4人/日 ・屈足地区→8.5人/日

(2) 効果

自家用車を持たない、または利用できない高齢者等の交通弱者等の通院や買物等を目的とする生活交通が確保され、外出機会の促進を図る。

幹線交通とフィーダー交通の連携を強化することにより、公共交通の利用拡大を図り、安全で安心して暮らせる交通環境を確保する。

協議会開催状況

平成29年1月16日 協議会を開催

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
- 平成29年4月24日 協議会を開催（書面会議）

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更について

平成29年8月23日 協議会を開催

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画について

平成29年度事業概要

新得市街地線 1日5便

（JR新得駅前～新得公民館前～JR新得駅前）

屈足地区線 1日3便

（JR新得駅前～屈足総合会館前～JR新得駅前）

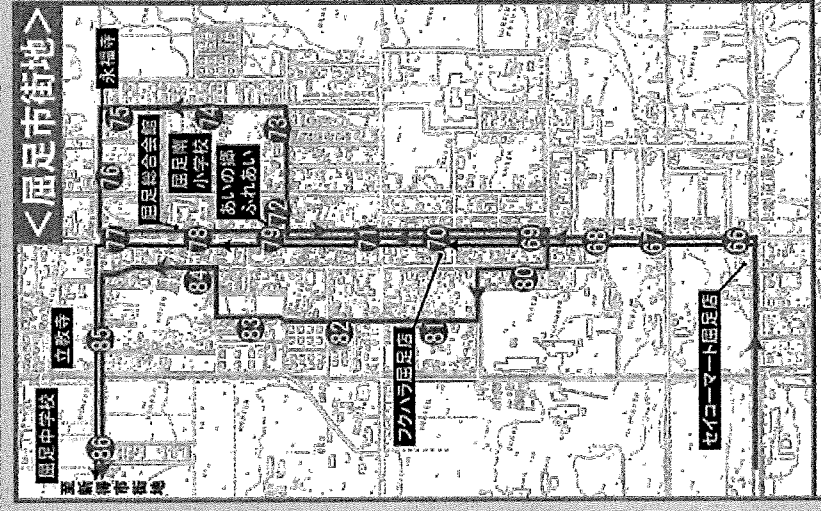
平成28年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

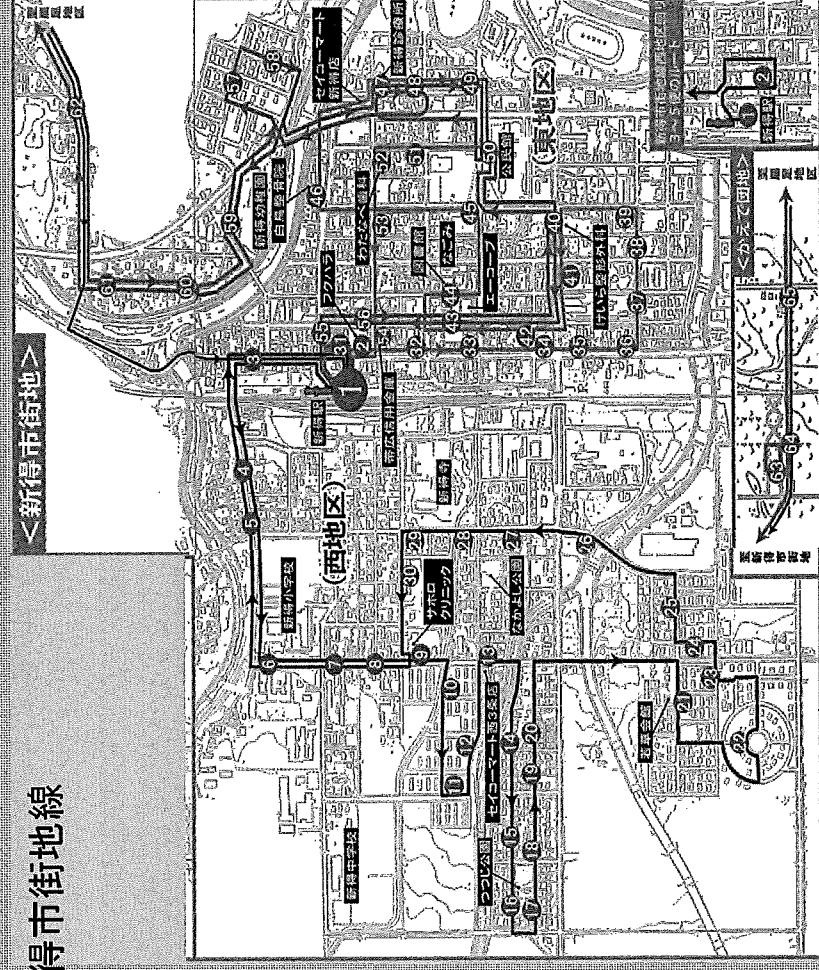
- ・町内イベント(うまいもん温かフェア・花火大会)での運行PR
- ・スポーツ少年団支援として、スポーツ少年団員に対して無料乗車券の配布を実施(新得市街～屈足市街間)
- ・屈足方面から町営温水プールを利用するために移動が必要な児童に対して無料乗車券の配布を実施(新得市街～屈足市街間)
- ・ポケット時刻表の配布

2) 運行系統

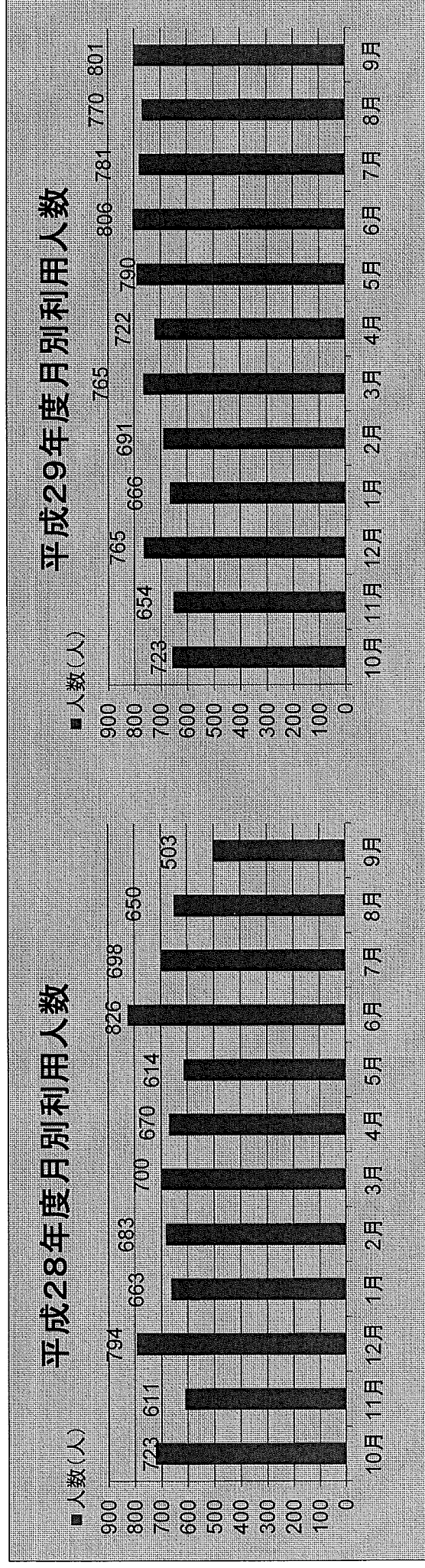
屈足地区線



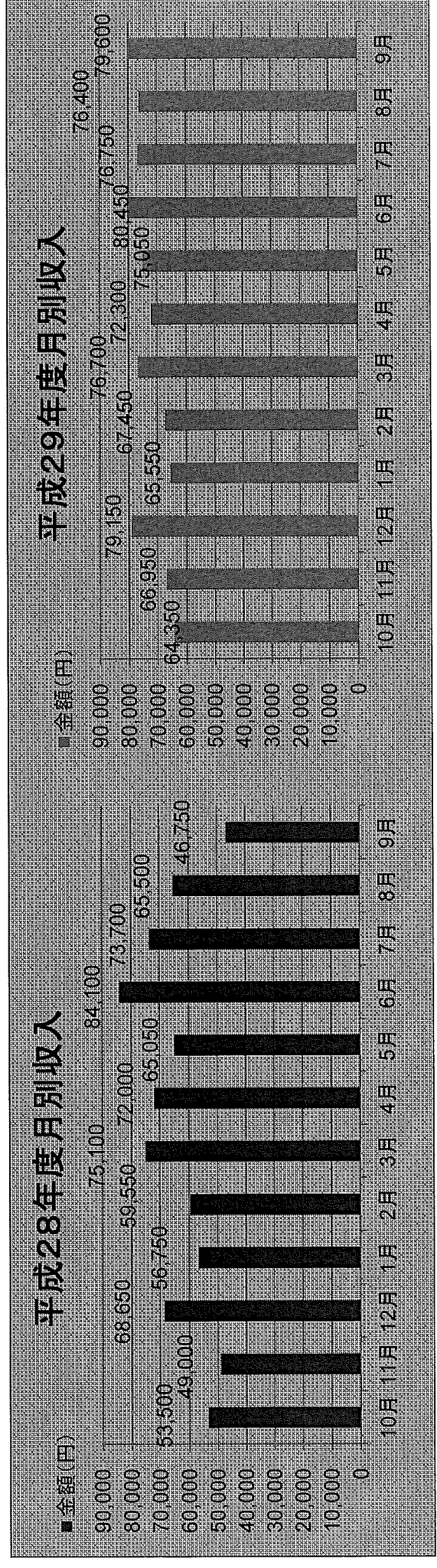
新得市街地線



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り、事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

バスの周知・PRの継続や、町民の意見を反映した路線の再検討などによって、より身近なフィーダー交通として維持していく。

6) 目標・効果達成状況

乗車人数については、利用の実態を踏まえた目標値とすることによって、目標乗車人数21.6人/便(4月～11月)に対し30.2人、26.9人/便(12月～3月)に対し30.1人と目標を達成することができた。

○詳細

4月～11月(積雪のない期間)

新得市街地→13.4人/日に対して、17.4人/日

屈足地区→8.2人/日に対して、12.8人/日

12月～3月(積雪のある期間)

新得市街地→18.4人/日に対して、19.1人/日

屈足地区→8.5人/日に対して、10.9人/日

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄